

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

複数施設研究用

以下、本文-----

特発性ネフローゼ症候群初発時の長期漸減法と国際法における初回再発時期の後方視的検討に関する研究

1. 研究の対象

2008年1月から2018年12月の期間に当センターの腎臓科で治療を受けたネフローゼ症候群の方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的

小児のネフローゼ症候群は再発を繰り返すことがある病気です。ネフローゼ症候群の初発時にどのくらいの期間のステロイド薬を使うか、治療期間にはさまざまな方法がありますが、どの治療期間が最も初回の再発を遅くすることができるかはまだ明らかにはされていません。今回の研究は、ネフローゼ症候群の初発時のステロイド使用法として、長期漸減法と国際法という2種類の治療方法について、ステロイド治療開始時から初回の再発時期が異なるかどうか明らかにすることを目的としています。

研究の方法

既存の診療情報を利用して、2種類の治療方法の効果などについて比較して検討します。

研究期間

実施許可日 ～ 2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：ステロイド治療開始年月日、性別、病前体重、既往歴、基礎疾患の有無（あればその内容）血液検査結果、尿検査結果、ステロイド（プレドニゾロン）投与方法（国際法 or 長期漸減法）、プレドニゾロン投与量、など。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

あいち小児保健医療総合センター 腎臓科 副センター長 藤田直也
あいち小児保健医療総合センター 腎臓科 医長 田中一樹
あいち小児保健医療総合センター 腎臓科 医長 笠原克明
あいち小児保健医療総合センター 腎臓科 医員 寺野千香子
あいち小児保健医療総合センター 腎臓科 医員 大田安孝
あいち小児保健医療総合センター 総合診療科 医長 川向永記
あいち小児保健医療総合センター 腎臓科 医員 渡邊千裕
あいち小児保健医療総合センター 腎臓科 医員 吉兼正宗
あいち小児保健医療総合センター 腎臓科 医員 秋山 希
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児腎臓科 後藤芳充
研究担当者：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児腎臓科 真島久和

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 腎臓科 担当者名 藤田直也（研究責任者）

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500（代表）FAX 0562-43-0513

研究代表者：

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児腎臓科 後藤芳充

-----以上